

問 高齢者の自動車免許証返納対策は

答 らくらく号の割引チケットを検討



土井 光正 議員

市長へ質問
 問 デマンドタクシー（らくらく号）の登録者のうち、利用者はわずか16%であり、普及啓発をさらに行うべきではないか。

答 百歳体操の集まりや敬老会等に市職員が出向き、らくらく号の利用方法の説明や登録者の募集を行う体制をつくる。

問 利用者の声で最も要望の多い日赤病院までの運行を早急に検討すべきである。

答 地域交通網の整備（らくらく号）は、当初から市内だけの運行ですすめているが、近年の状況



の変化もあり、今後検討していく。

問 市内チケット販売所が少ない。利用者の利便を確保するためには、チケットの車内販売も実施すべきである。

答 事業者との協議会に提案し協議していく。

増加する認知症対策は

問 みまもりカード等の発行による認知症の徘徊対策を拡充すべき。

答 QRコードを利用したみまもりカードは有効と思われるので検討する。

市道の砂利道舗装対策

問 砂利道の舗装整備で住みよいまちを確立せよ

答 住宅に接する場所の道路については計画的に整備していく。

乳児用液体ミルクの備蓄

問 使い勝手の良い国産乳児用液体ミルクを災害備蓄食品として早急に配備すべきである。

答 現在備蓄品の粉ミルクの更新時に検討する。

▲歩行困難な砂利道／乳児用液体ミルク



問 今後のまちづくりについて

答 地域の声を聞き工夫等に努める



小野 幸男 議員

市長へ質問
 問 宮戸・野蒜市民センターの統合について。

答 宮戸・野蒜地域の合意形成が大前提である。

問 野蒜・宮戸地区の交通網の拡充と免許返納者への対応は。

答 観光振興も視野に可能な手法等を検討する。

問 8 地域の今後の予算と地区担当職員の取り組みについて。

答 詳細に精査を行い妥当な予算額を検討する。地域との意見交換を重ね効果的に支援を行う。

問 自治会長の位置づけについて。

答 委嘱も含め、望ましいあり方を検討する。

問 東名運河での灯笼流しの開催について。



▲震災伝承館の早急な充実を期待する

問 野蒜まちづくり協議会・地区自治会が主体で実施する場合など市として支援をする。

答 防災課所管について何う

問 危機管理監について。

答 台風や地震の災害対応と松島基地との連携強化に努めている。

問 震災復興伝承館の今後の活用策について。

答 本市の震災と復興を伝承する場としてふさわ

しい施設となるよう検討する。

問 土取り場の災害時の利活用策について。

答 大規模災害時の瓦礫の一時保管場所と、企業誘致を行う場として考えている。

問 消防団員の確保対策

答 市制施行後、見直していない団員報酬および手当について幹部と協議する。